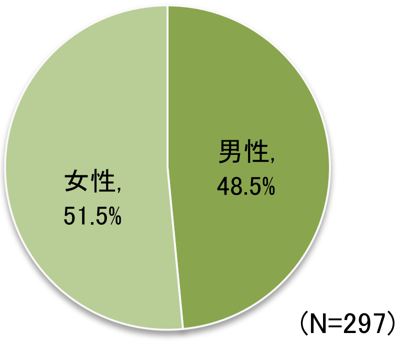
もりおか暮らしのアンケート集計結果

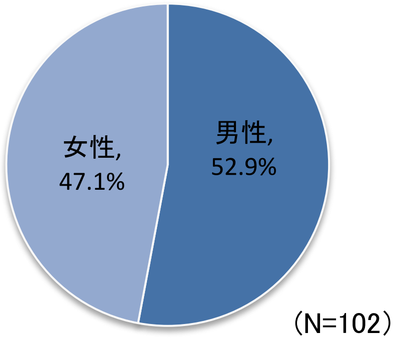
年度	平成30年度	平成29年度
対象	東日本大震災以降盛岡市に転居し，現在も市内に居住している世帯の意見を代表する方，又は世帯主（主たる生計維持者）の方	東日本大震災以降，盛岡市内のみなし仮設住宅（民間賃貸住宅借り上げ・市営住宅・県営住宅・国家公務員宿舎・雇用促進住宅）に入居中の世帯の意見を代表する方，又は世帯主（主たる生計維持者）の方
対象数	536世帯	182世帯
回答数	303世帯	104世帯
回答率	56.5%	57.1%
実施期間	平成30年10月４日～10月22日	平成29年９月27日～10月13日
調査方法	郵送，原則無記名	郵送，原則無記名

回答者の属性

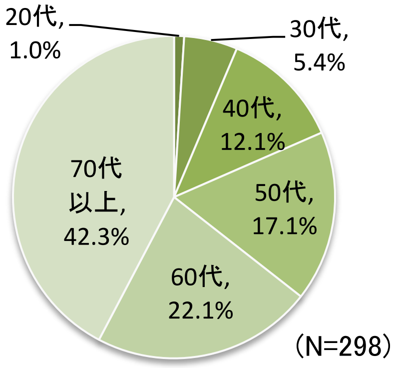
平成30年度　　　平成29年度

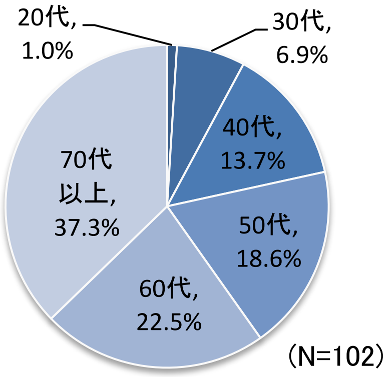
【性別】



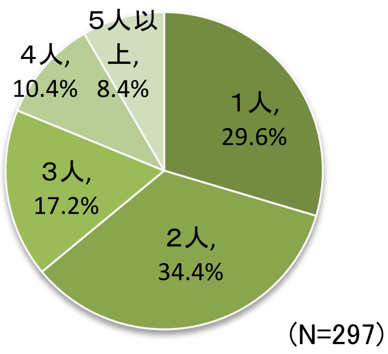


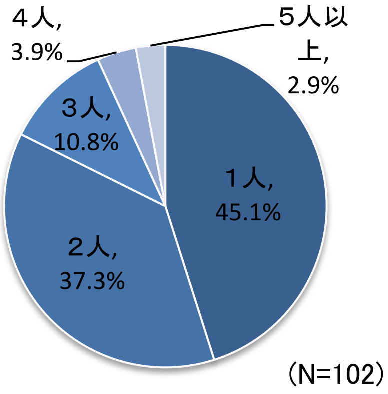
【年齢】



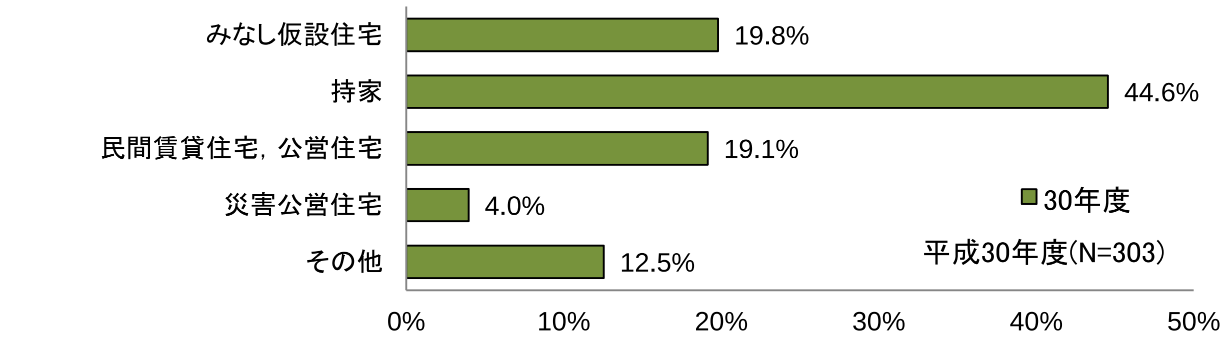


【世帯人数】



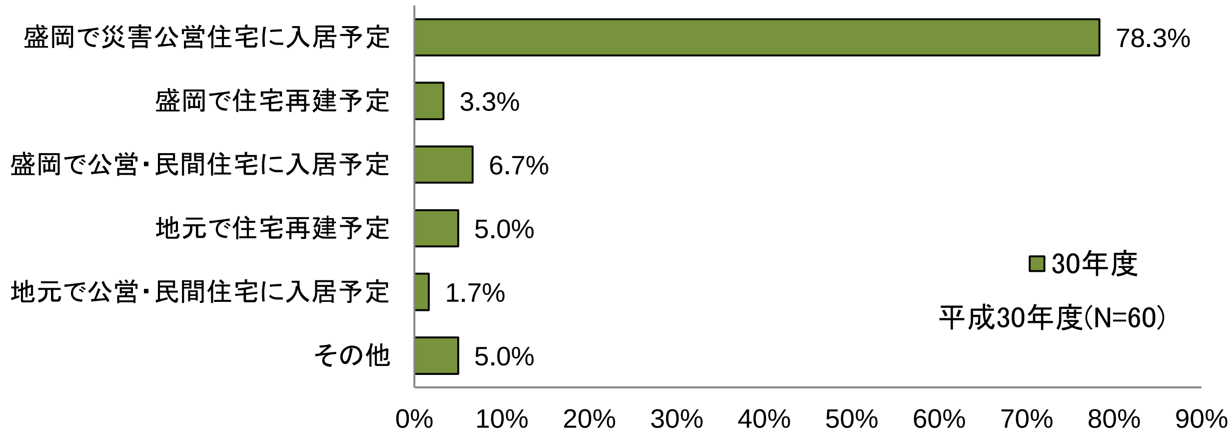


◆問1　あなたは，現在どのような住居にお住まいですか。（30年度新設の設問）



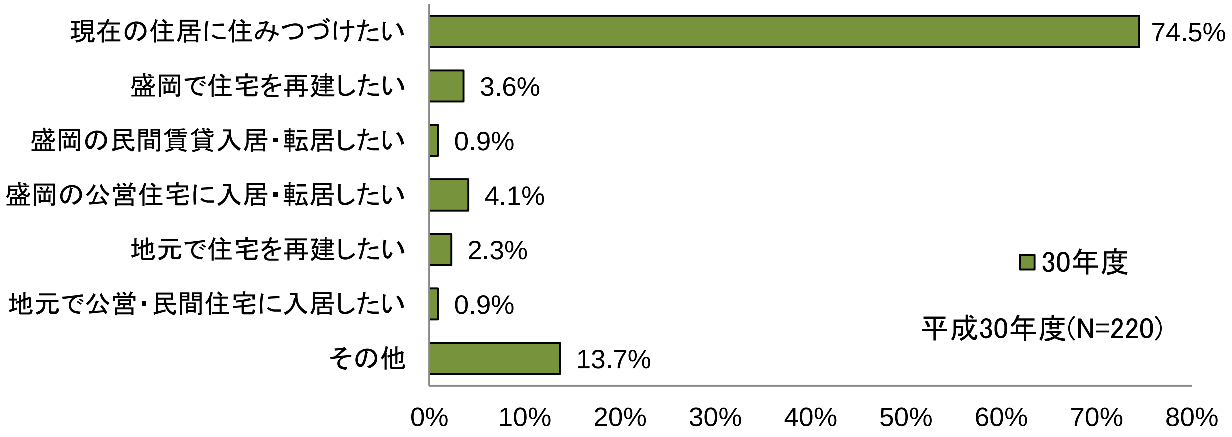
〔問1で「みなし仮設住宅」と回答した方にお伺いします。〕

問1−1　みなし仮設住宅退去後の住居について教えてください。（30年度新設の設問）



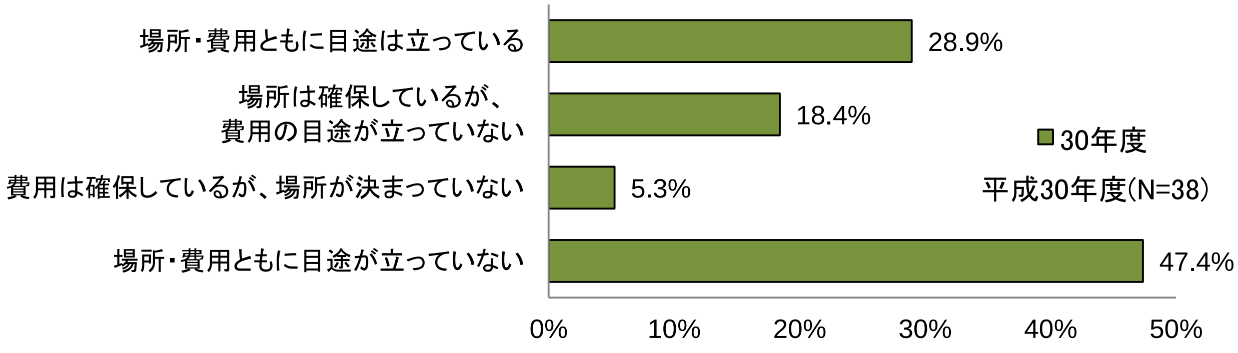
〔問1で「みなし仮設住宅」以外と回答した方にお伺いします。〕

問1−2　これからの住まいをどのようにしたいと考えていますか。（30年度新設の設問）



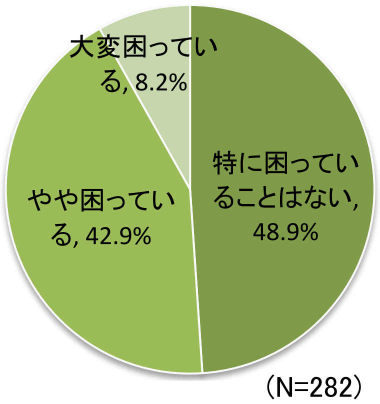
〔問1−1又は問1−2で「住宅を再建予定」又は「住宅を再建したい」回答した方にお伺いします。〕

問1−3　住宅再建の目途は立っていますか。



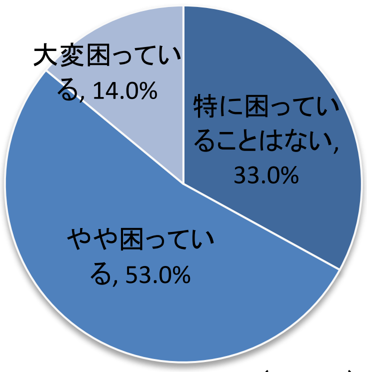
◆問2　あなたの暮らしの状況を教えてください。

平成30年度	平成29年度



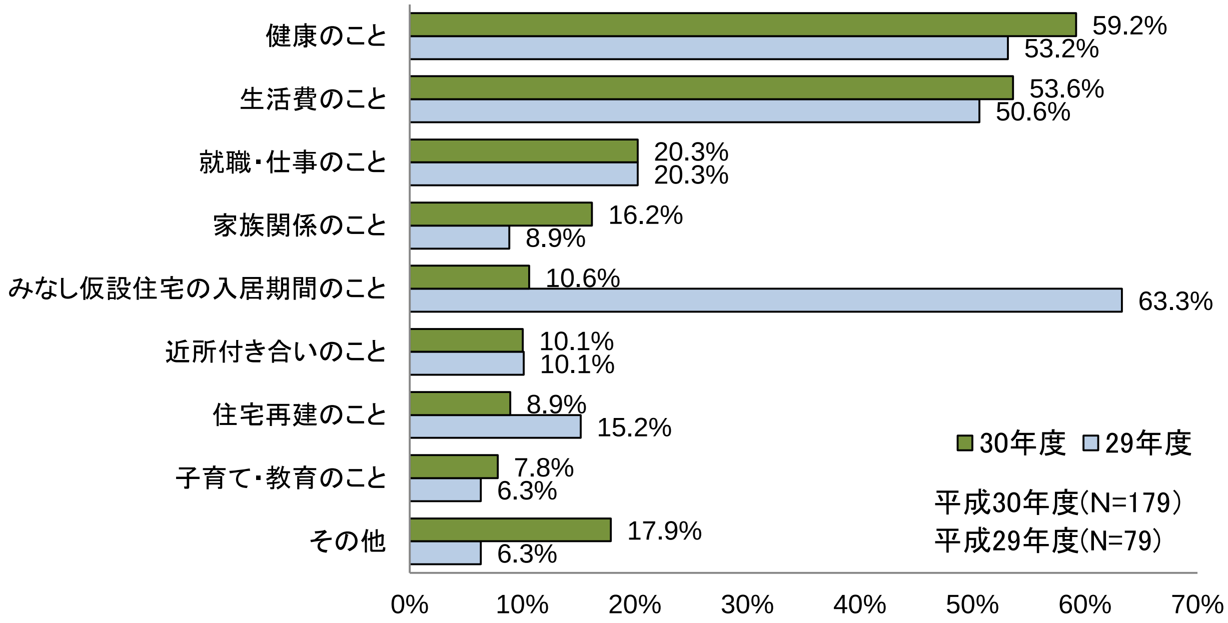
（N=282）

「やや困っている」「大変困っている」を合わせると51.1%が困り事があると回答。
内容は「健康のこと」が59.2%と最も多く，次いで「生活費のこと」「就職・仕事のこと」「家族関係のこと」が多い。
相談する相手は別居している家族・親類，同居の家族，友人が多い。

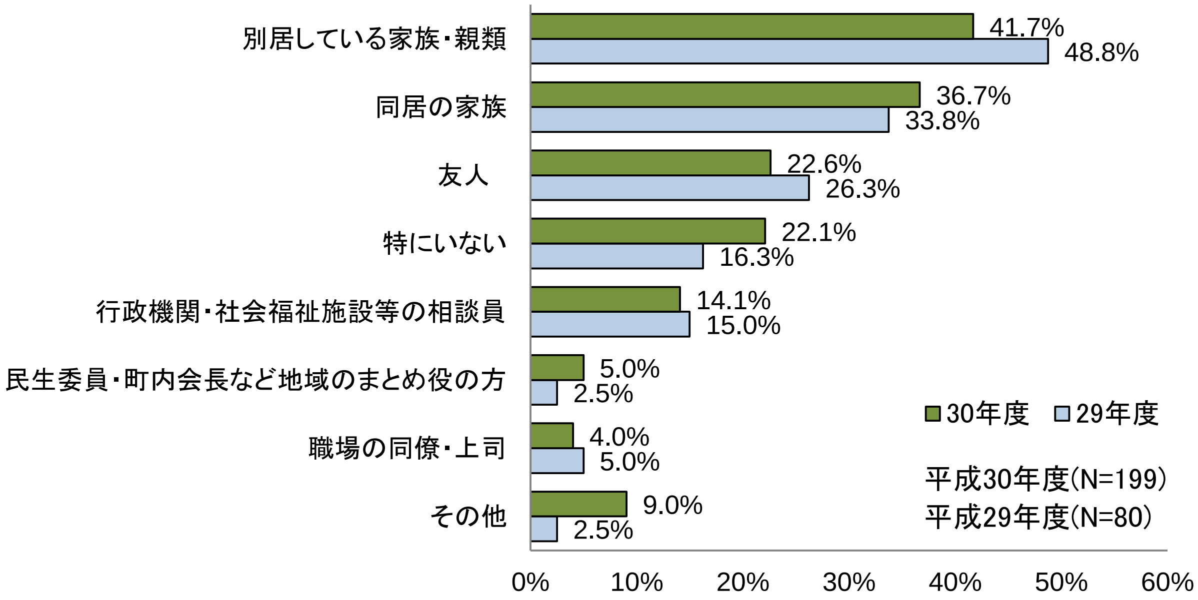


（N=100）

〔問2で「やや困っている」「大変困っている」と回答した方にお伺いします。〕
問2−1　現在の困り事や心配事は何ですか。（複数回答）

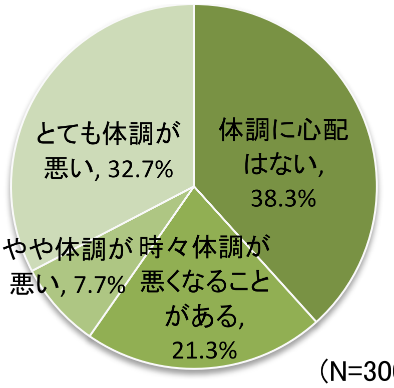


〔問2で「やや困っている」「大変困っている」と回答した方にお伺いします。〕
問2−2　生活上の困り事や心配事を相談する相手は誰ですか。（複数回答）



◆問3　あなたの健康の状況を教えてください。

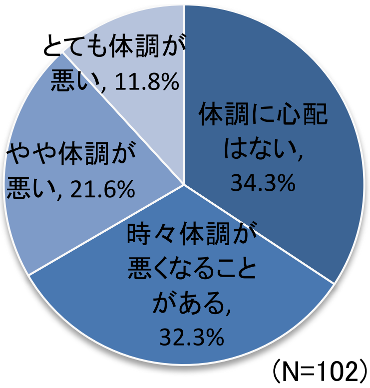
平成30年度



（N=300）

61.7%が体調に心配があると回答している。

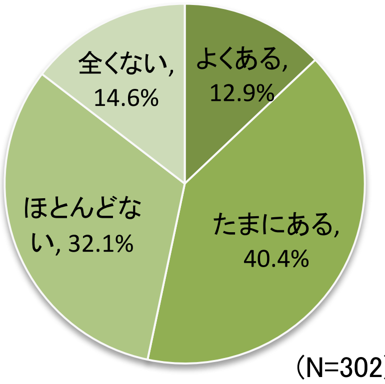
平成29年度



（N=102）

◆問4　近所の方と交流はありますか。

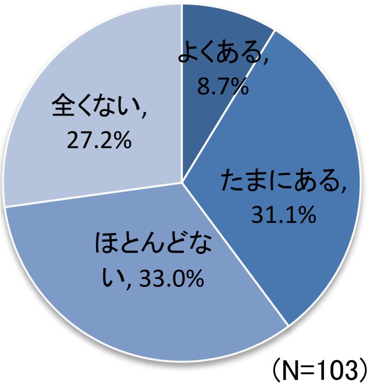
平成30年度



（N=302）

「ほとんどない」「全くない」を合わせると46.7%が「交流がない」と回答している。

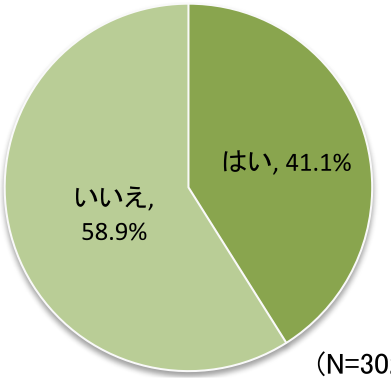
平成29年度



（N=103）

◆問5　あなたは，現在仕事をされていますか。

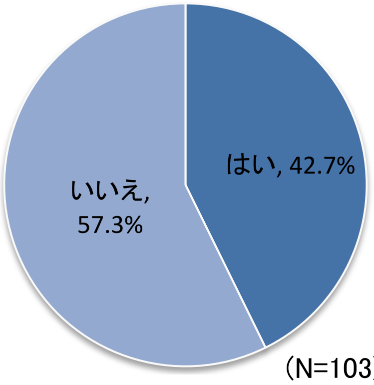
平成30年度



（N=302）

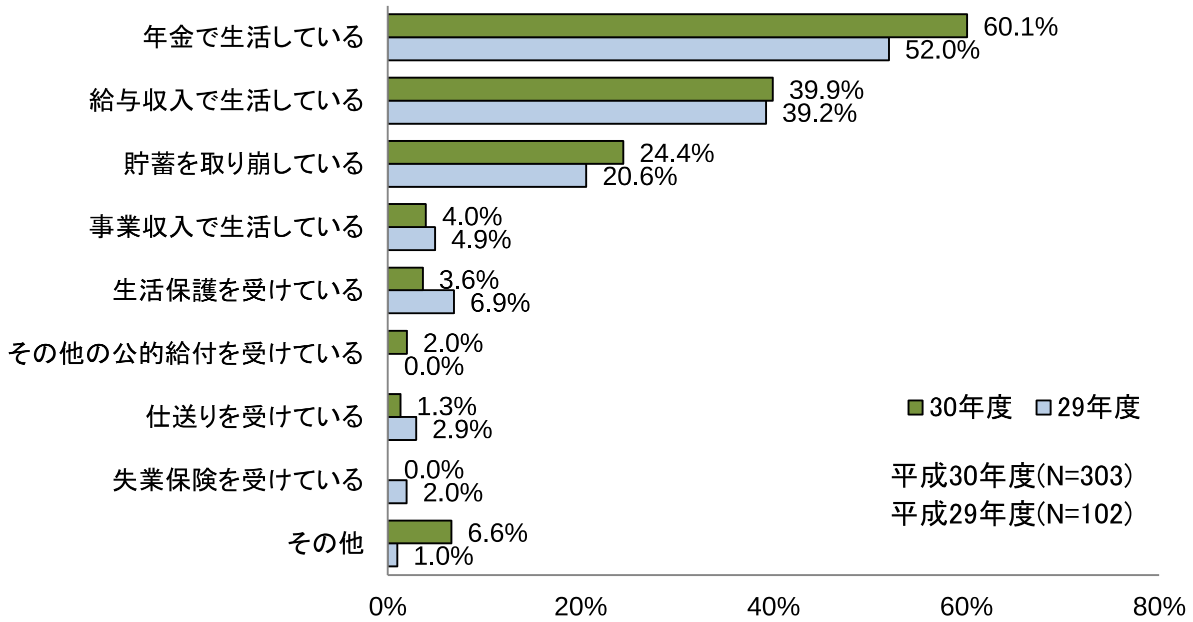
「仕事をしている」と回答したのは41.1%。
生計維持の手段は，年金が60.1%と最も多く，次いで給与収入が39.9%，貯蓄を取り崩しているとの回答が24.4%となっている。

平成29年度



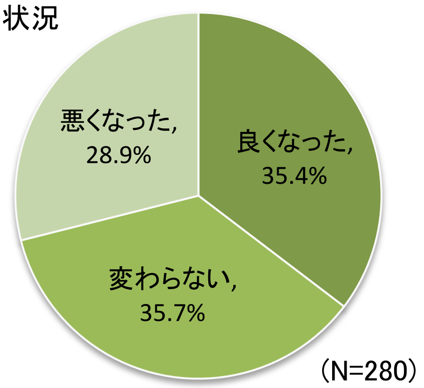
（N=103）

◆問6　あなたの世帯は，どのように生計を維持していますか。（複数回答）

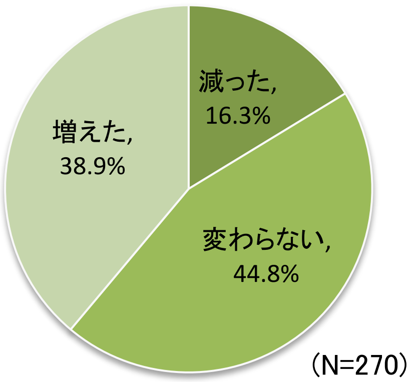


◆問7　東日本大震災の直後と比較して，あなたの現在の暮らしはいかがですか。
（30年度新設の設問）

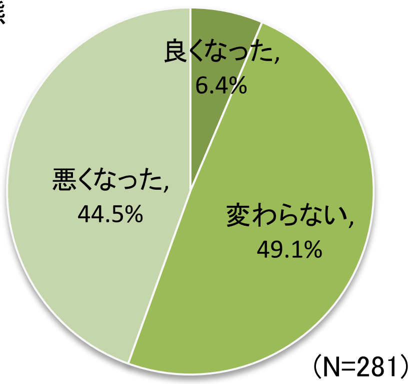
①住まいの状況



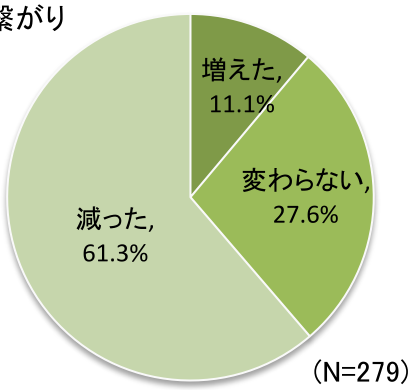
②困り事



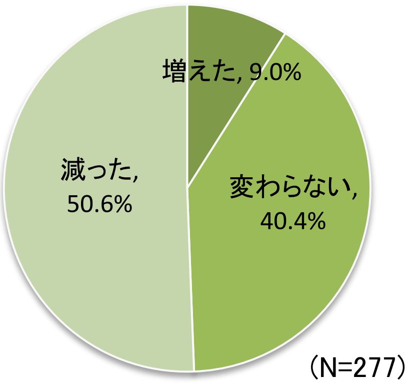
③健康状態



④人との繋がり

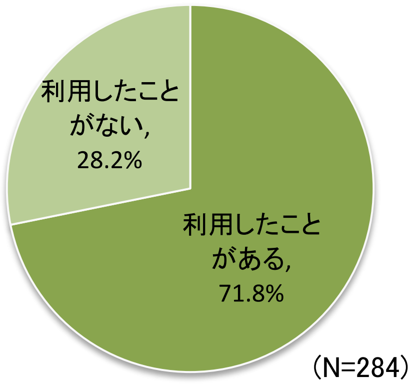


⑤収入

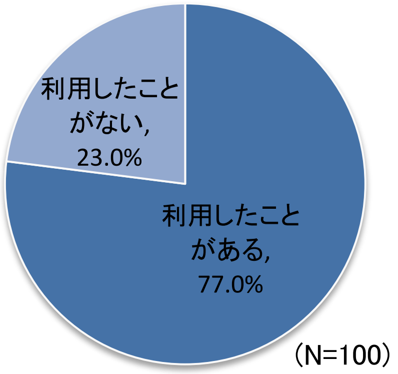


◆問8　あなたは，もりおか復興支援センターを利用したことがありますか。

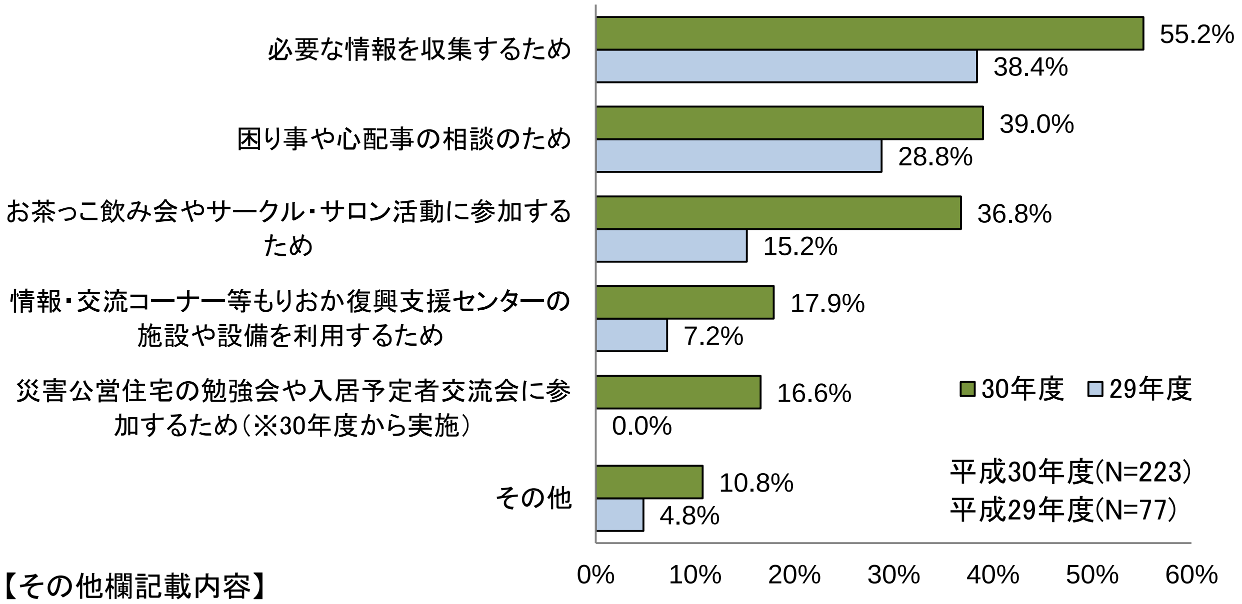
平成30年度	平成29年度



71.8%が「利用した事がある」と回答。
利用目的は「必要な情報を得るため」が55.2%と最も多く，「困り事や心配事の相談のため」，「お茶っこ飲み会やサークル・サロン活動に参加するため」が次いで多い。



〔問８で「利用したことがある」と回答した方にお伺いします。〕
問8−1　あなたは，もりおか復興支援センターをどのように利用しましたか。（複数回答）

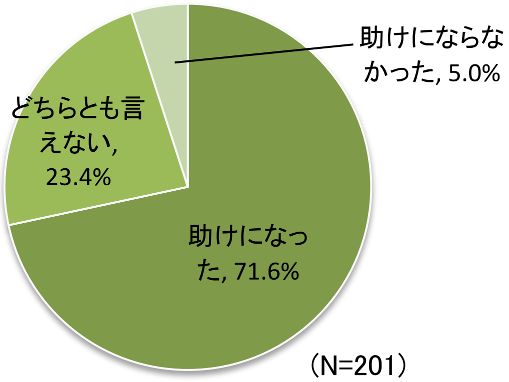


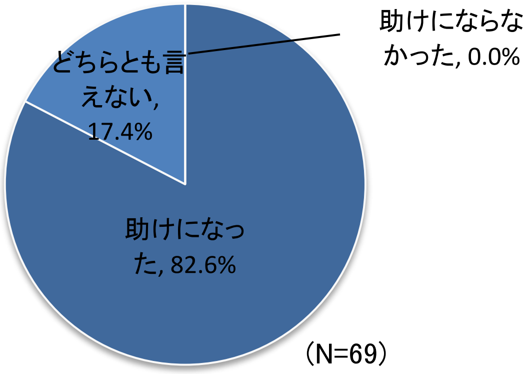
【その他欄記載内容】
・補助金等の書類の書き方
・避難当初，支援物資の提供を受けた
・講演会に参加した
・近所付き合い等の相談
・復興ぞうきん活動
・ボランティアに参加した

〔問８で「利用したことがある」と回答した方にお伺いします。〕
問8−2　あなたは，もりおか復興支援センターを利用してどのように感じましたか。
（①～④について，あてはまるものそれぞれ１つに〇印をつけてください。）

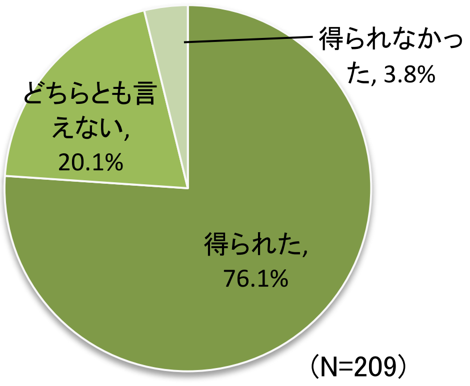
平成30年度	平成29年度

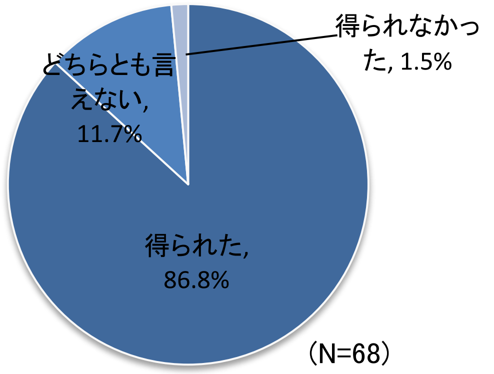
①困り事や心配事を解決する助けになった



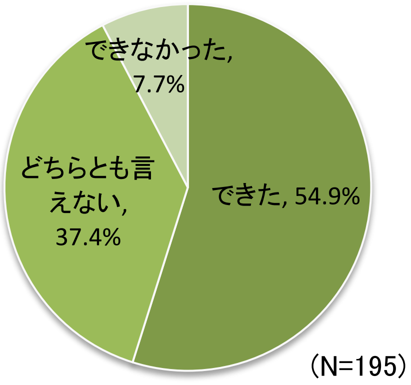


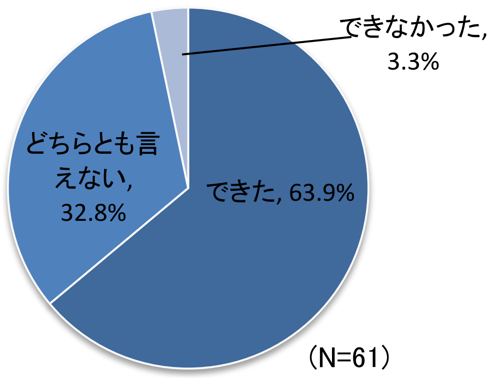
②必要とする情報が得られた



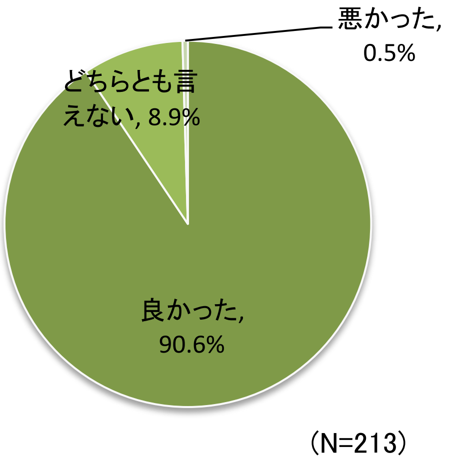


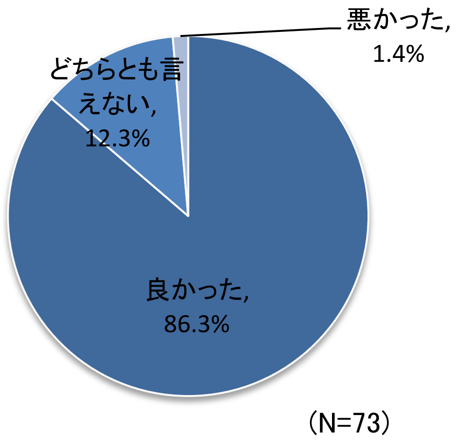
③リフレッシュできた





④職員の対応が良かった

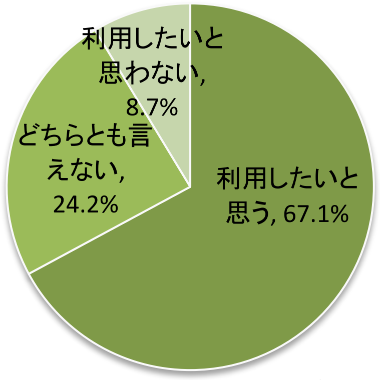




【自由記載欄】※趣旨を損なわない範囲で修正を加えている部分があります。

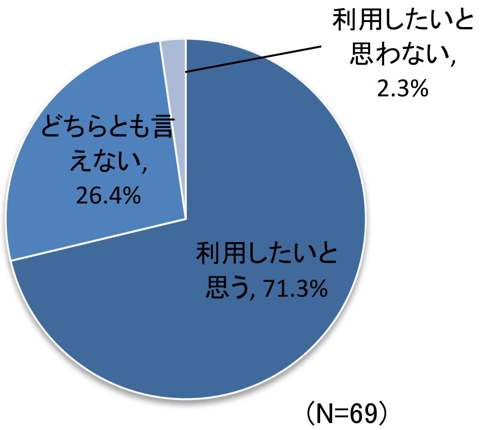
・職員の方がわざわざ自宅に来てくれて，親身に近況等聞いて下さって，有り難く嬉しく思っています。
・保健師との健康相談，その他の活動がとても楽しい。
・親身になって接していただきました。安心してお世話になっています。
・精神的な面で大変な支えとなった。
・親類，身内のように感じている。
・相談，心配事に対して分かりやすく説明してくれて有り難い。足を運びやすい。
・皆さんが声をかけてくれるので行く事が楽しみです。
・困り事を相談したが，解決しなかった。
・触れ合い，談笑の時間は楽しかったが，時間が短く残念に思った
・昔いやな思いをしたことがある。現在の担当者は相談しやすくなった。
・参加して失敗したと思ったことがある。自分が来る場所では無いと感じた。
・市役所周辺は車で行きにくい。

〔問８で「利用したことがある」と回答した方にお伺いします。〕
問８−３　あなたは，もりおか復興支援センターを今後も利用したいと思いますか。



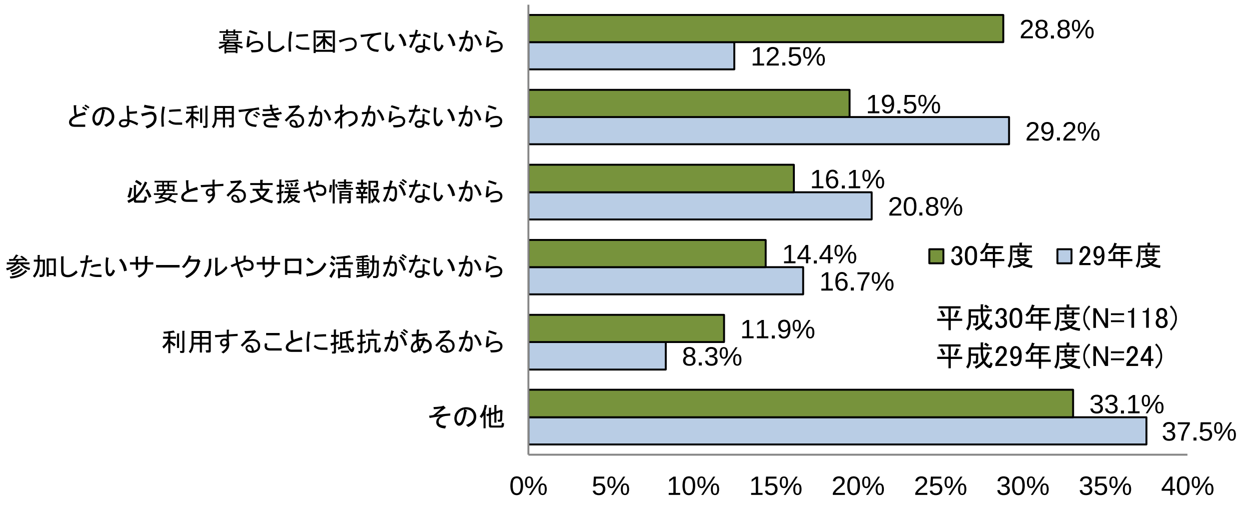
（N=219）

67.1％が「利用したいと思う」と回答。利用しない理由では「暮らしに困っていないから」が最も高く，その他の回答では「自立しなければならないから」という回答も見られた。



（N=69）

〔問８で「利用したことがない」，問８−３で「利用したいと思わない」と回答した方にお伺いします。〕
問８−４　あなたが，もりおか復興支援センターを利用しない，今後利用しようと思わない理由を教えてください。



【その他】
・自立しなければならないから。もう迷惑をかけてはいけないと感じるから。
・震災を思い出したくないから。前向きに生活しているので，過去にこだわりたくない。
・住宅も再建できたので，今後は震災前のように普通に暮らしたい。
・生活が忙しく，時間的・精神的な余裕が無い。自分たちには縁の無いものと感じる。
・知り合いに会いたくないから。利用者間で嫌な思いをしたことがあるから。
・利用できる事柄がないと思うから。助けにならなかったから。
・場所が遠い。外出が困難である。立地的に行くことが難しい。

◆問９　現在の困り事や心配事などのほか，盛岡での生活や将来について，日頃考えていることがありましたら自由にご記入ください。

【主なもの】※趣旨を損なわない範囲で修正を加えている部分があります。

・生まれ育った古里でくらしたい気持ちはいっぱいですが、近所の人達もみんなバラバラになってしまい古里へ帰っても新しい付合いになるのであればここでの生活もいいと思うようになりました。

・年を取っているので，もう地元には帰れないと感じる。

・親は戻りたいとも思っていますが子どもたちが盛岡での生活に慣れ、つながりが出来ています。今は子供たちの気持を大事にしたいと思う一方、住まいの事を決めかねています。

・近い将来、居住地をしっかり確立したいと考えています。子どもの進学進路の方向性がより明確になりましたら、動き出そうと思っております。その地に根付くというのはまだ少し先になりそうです。難しい問題ですね。全てを失いゼロからスタートするということは…。先ずは健康が全て。心身共に健康でありたいと思います。

・盛岡に住み続けたいと考えているが，仕事のことなど考えると暮らしていけるか不安である

・怖いから地元には住めない。住宅再建についてまだ考えている最中である。

・仕事のこと，子どもの進学のことなどを考えると，今後どこに住むか決められない。

・もう少し若く家族がいたら、きっと地元に帰ったろうと思いますがこの年になり一人の生活は不安があります。今は家族の住居を間借りし，狭いですが気楽です。このまま終の棲家になると思います。支援センターの皆様からは沢山の力を頂いております。ありがとうございます。

・制度，支援の有り方に疑問を感じる。今も苦しんでいる人がいる。もっと被災者のことを考えて支援をしてほしい。

・今こそ金銭的な支援が必要である。融資，補助金の制度が欲しい。ローンの支払が大変だ。

家族が在住していたことで盛岡に住みましたが、現在は側におらず，心の寄る辺が無くなって心細くなりました。夫の介護度が高くなり、先が不安でなりません。が、夫の事についてはケアマネさんやリハビリ施設の職員の方々が相談になってくださって感謝です。でも私の心は晴れません。

・被災時から家を建てるまで本当にお世話になりました。主人も私も無事、働く事ができて、生活に困る事無く過ごしております。気になるのは親せきが全くいない土地に家を建てた事で、別居しているおばあちゃんが同居したがらない事です。私達はすんなり馴染めましたが、年寄りは抵抗があるようです。

・震災から8年近く経つのにこのようにサポートしてくれる方々がいてありがたい反面、申し訳なく思う。被災した人で働ける人は甘えず自立したほうがいいと思う。

・将来に対する不安でいっぱいです。でも今までたくさん支援をいただいたのにこれ以上…という気持ちがあります。

・元気なうちに，希望する災害公営住宅が早く完成してほしい。建つのが遅いです。

・災害公営住宅の家賃が上がるのが不安。出来る限り安くしてほしい。

・地域住民と顔見知りになり，地域事情を知っていかなければならないと感じる。

・収入が減ったことにより将来への不安は増大している。非常勤でしか仕事がないのかと悲しくなる。年齢が高いので仕方ないのかなとあきらめている。

・地元の土地，お墓の問題が解決しない。

・医療費免除がとても助かっている。有り難い。今後も継続してほしい。

・住みやすい、良好な環境と感じます。また、仕事面でも便利で快適です。

・盛岡での生活は暮らしやすく助かっております。支援センターの皆様には本当に良くして頂き感謝しております。

・特に困っていることは。と聞かれると具体的にはありませんが小さな部分で震災前の状態に完全には戻ってないと感じます。（震災前の生活水準よりも少し低くなっている）

・元気なうちは問題ないが，年を取ってからの生活について悩むことがある。色々考えさせられる。